

安全パトロール

矢木沢・下久保ダム貯水池堆砂測量
 (独立行政法人水資源機構 利根川上流総合管理所)

弊社では現場作業時の**安全対策を強化**するため、**現場担当の女性社員による安全パトロールを実施**しております。
 日ごろ現場経験の少ない**第三者目線で点検**することで、見落としがちな危険箇所の改善を目的としております。今回は、矢木沢ダム・下久保ダムにて安全パトロールを実施してまいりました。



安全パトロール実施状況



作業当日の気象情報や災害発生時の避難場所や**作業時の注意点について情報共有**を行う為、**安全掲示板を活用**し作業前ミーティングを行った。

担当者に作業内容の確認を行い、事前に把握した危険箇所や注意点を聞き取りし、安全に作業が行われているか、**第三者目線で確認を行った**。

パトロール結果について担当者全員で意見を出し合い、次回の測量作業時における課題について**安全対策案の検討を行った**。

安全対策実施状況

①作業状況箇所注意点を抽出・安全対策マップの整理



安全対策マップ

現地踏査で確認した内容を**安全対策マップとして整理**し、駐車可能箇所・作業経路等の現地状況把握、注意点の抽出を行った。抽出した**現場周辺の注意点を作業担当者へ周知**し、測量作業時における安全対策の検討を行った。

作業箇所注意点

- 渇水の影響により水位が低下し、昨年度と同程度の降雨量でも水位が上がりやすく、風の影響を受けやすい為、気象状況への対策が必要である
- 渇水の影響による水位の低下により、斜面の岩盤が露出している箇所が多い為、作業船で陸上へ着陸する際注意が必要である

②安全対策の検討・安全対策実施結果

①厳しい自然条件への対応 (気象状況対策)



水位・気象情報を都度確認

昨年度と比較して**渇水傾向により水位が低下**しており、昨年と同程度の降雨量でもすぐに**水位が上昇しやすい状況**である為、**ウェザーニュースを活用して降雨情報を都度確認**し、水位に注意しながら安全な作業環境を確保した。

作業船使用時の作業中止基準を変更

作業船使用時の作業中止基準を風速 5 m/sとしているが、**水位が低下すると風を遮るものが減少し、風の影響を受けやすくなる**ことで、短時間で風向き・風速が変化し、波の高さが急変することがある。
 このため、風速 5 m/s であっても作業船の転覆や作業担当者の落水等の危険性があることから、**作業中止基準を風速 5 m/s から風速 3 m/s へ変更**することとした。

②厳しい自然条件への対応 (渇水時の測量対策)



UAVレーザ測量時の工夫

本業務では、作業船を使用して移動し、UAVによる測量作業を実施することから、水上での作業に十分注意する必要がある。
 今年度は渇水の影響により**岩盤斜面が露出している箇所が多く**、UAVの発着地点として使用できない箇所も確認された為、**作業船上にUAVの発着地点を設置**した。
 これにより、陸上への着地回数を減らすことができ、作業担当者の移動や足場不安定箇所での作業を最小限に抑え、**転倒や滑落の危険を未然に防止し、効率的に測量作業を実施**した。

今年度は渇水の影響により水位が低下しており、立ち入ることができない作業箇所もありましたが、そのような状況に応じた対策を行うことで、作業担当者が安心して作業できる環境づくりができておりました。今後も、現場状況に応じて**「安全・安心」**な作業環境の維持に努めてまいります。